

衛研第2-1号
平成29年4月5日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. インフルエンザウイルス検出情報
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 13 週（平成 29 年 3 月 27 日～平成 29 年 4 月 2 日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類、二類(結核を除く)及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症は、A型肝炎 1 人、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 2 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 4 人、梅毒 3 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、インフルエンザ(8.94 8.09：図 1)の定点当たり報告数は前週と同水準に留まった。保健所別では草加(12.82)保健所管内からの報告が多く、注意が必要である。また、病原体サーベイランスでは、B 型ウイルスの検出割合が増加している。感染性胃腸炎(6.16 6.44)の定点当たり報告数は前週と同水準であったが、保健所別では、川口(13.25 12.31)、熊谷(8.78 8.78)、さいたま市(8.19 8.78)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、1 歳及び 2 歳が特に多い。眼科定点報告対象疾患では、流行性角結膜炎 25 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、感染性胃腸炎(ロタウイルス)(8 人 14 人：図 2)の報告数は、前週より増加し、多い状況が続いている。その他の基幹定点報告対象疾患では、マイコプラズマ肺炎 2 人、インフルエンザ(入院) 8 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

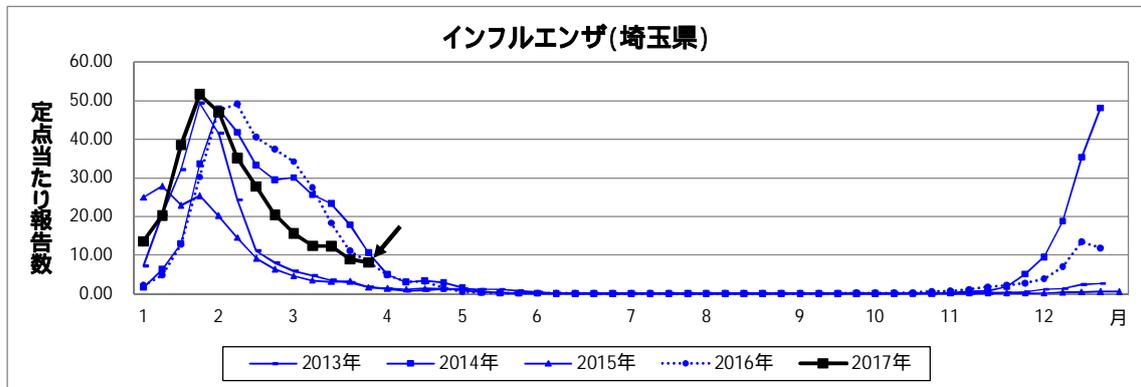
一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	報告なし	
四類感染症	A型肝炎	1 人(推定感染地域 国内)
	レジオネラ症	1 人(病型 肺炎型)
五類感染症	アメーバ赤痢	2 人(病型 腸管アメーバ症 2 人)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人(菌種 <i>Enterobacter</i> sp.)
	侵襲性肺炎球菌感染症	4 人
	梅毒	3 人(病型 早期顕症 期 1 人、 早期顕症 期 1 人、晩期顕症 1 人)

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

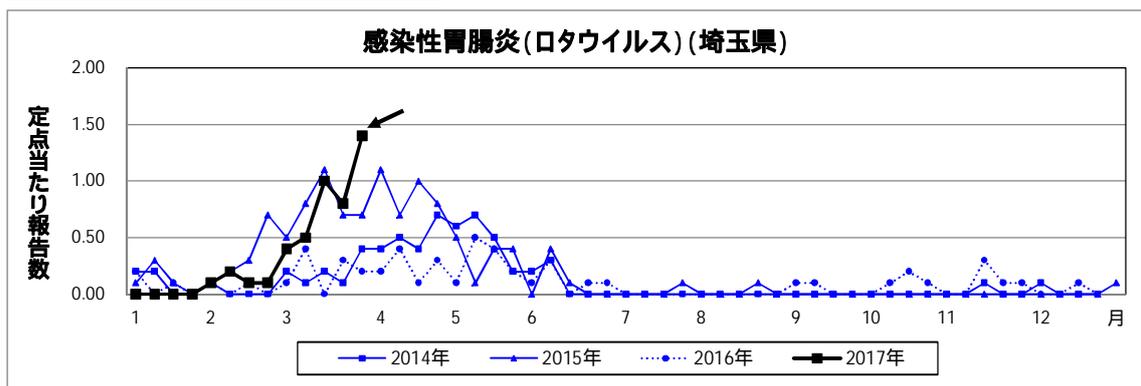
<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 インフルエンザ



基幹定点報告対象疾患

図2 感染性胃腸炎(ロタウイルス)



<インフルエンザウイルス検出情報>

第10週(3月6日~3月12日)以降の4週間に、12保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出数は60件で、A香港型(AH3)が27件(60.3% 45.0%)、B型ビクトリア系統が23件(25.0% 38.3%)、B型山形系統が9件(13.2% 15.0%)であった。B型が検出される割合は増加している(表1)。

表1. 第10~13週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

型	10w	11w	12w	13w	4週の合計
AH1pdm09	-	1	-	-	1
AH3	15	7	3	2	27
Bビクトリア系統	5	8	8	2	23
B山形系統	2	4	3	-	9

(-:0)

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第13週)

(2017年4月4日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2016年 累計		今週 届出	累 計	2016年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1383	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			2
細菌性赤痢		1	11	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		9	174				
四類感染症							
E型肝炎		5	15	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎	1	2	6	ニパウイルス感染症			
エキノкокクス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱			1	レジオネラ症	1	11	89
つつが虫病			1	レプトスピラ症		1	
デング熱		5	13	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	2	18	44	侵襲性肺炎球菌感染症	4	50	108
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	7	水痘*		6	9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	11	51	先天性風しん症候群			
急性脳炎		11	38	梅毒	3	41	191
クリプトスポリジウム症				播種性クリプトコックス症			8
クロイツフェルト・ヤコブ病			5	破傷風			4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		7	21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群		7	40	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		5	9
ジアルジア症			1	風しん		2	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		3	9	麻しん		2	8
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		3	7
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他	累計
累計	1	1			

累計は診断日で集計
2016年累計は暫定値です。
*結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	報告患者数										保健所別										平成29年3月27日～平成29年4月2日									
	インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 #3	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(口ウイルス)	インフルエンザ(入院)									
全	2,047	18	29	370	1,037	73	7	6	76	1	3	64	-	25	-	-	2	-	14	8										
川	8.09	0.11	0.18	2.30	6.44	0.45	0.04	0.04	0.47	0.01	0.02	0.40	-	0.61	-	-	0.20	-	1.40	0.80										
川	216	5	7	83	197	10	-	1	6	-	-	2	-	9	-	-	*	-	*	*										
朝	187	-	2	27	99	5	1	-	8	-	-	12	-	1.80	-	-	*	-	*	*										
朝	8.50	-	0.14	1.93	7.07	0.36	0.07	-	0.57	-	-	0.86	-	-	-	-	-	-	-	-										
鴻	169	-	2	28	54	5	-	1	4	-	-	4	-	1	-	-	*	-	*	*										
鴻	8.89	-	0.17	2.33	4.50	0.42	-	0.08	0.33	-	-	0.33	-	0.33	-	-	*	-	*	*										
東	67	-	-	13	29	-	-	-	2	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-										
東	8.38	-	-	2.60	5.80	-	-	-	0.40	-	-	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-										
秩	25	-	-	3	5	1	-	-	-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	2										
秩	5.00	-	-	1.00	1.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	*	-	-	-	-	-	2.00										
本	36	-	1	1	8	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-										
本	5.14	-	0.25	0.25	2.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-										
熊	124	-	-	54	79	4	4	-	6	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-										
熊	9.54	-	-	6.00	8.78	0.44	0.44	-	0.67	-	-	0.22	-	0.50	-	-	-	-	-	-										
加	55	-	-	4	4	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	*	-	*	*										
加	5.50	-	-	0.67	0.67	0.33	-	0.17	0.17	-	-	-	-	-	-	-	*	-	*	*										
春	50	-	2	21	19	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	*	-	*	*										
春	5.00	-	0.33	3.50	3.17	0.67	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	*	-	*	*										
幸	134	2	3	15	42	8	-	-	4	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1										
幸	9.57	0.22	0.33	1.67	4.67	0.89	-	-	0.44	-	-	0.33	-	-	-	-	-	1.00	-	1.00										
坂	38	-	-	3	45	5	-	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-										
坂	3.80	-	-	0.50	7.50	0.83	-	0.17	0.17	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-										
草	218	-	2	23	83	2	-	1	4	1	-	-	-	-	-	-	*	-	*	*										
草	12.82	-	0.18	2.09	7.55	0.18	-	0.09	0.36	0.09	-	-	-	-	-	-	*	-	*	*										
狭	221	8	5	25	77	4	1	1	14	-	-	6	-	3	-	-	-	-	5	1										
狭	8.50	0.47	0.29	1.47	4.53	0.24	0.06	0.06	0.82	-	-	0.35	-	0.60	-	-	-	-	5.00	1.00										
川	104	-	-	13	27	1	-	-	1	-	-	9	-	-	-	-	*	-	*	*										
川	8.00	-	-	1.63	3.38	0.13	-	-	0.13	-	-	1.13	-	-	-	-	*	-	*	*										
越	120	-	3	9	32	4	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	1	-	7										
越	9.23	-	0.38	1.13	4.00	0.50	-	-	0.13	-	0.25	0.13	-	-	-	-	-	1.00	-	7.00										
さい	283	3	2	48	237	18	1	-	21	-	1	14	-	9	-	-	-	-	2	2										
さい	6.90	0.11	0.07	1.78	8.78	0.67	0.04	-	0.78	-	0.04	0.52	-	1.13	-	-	-	-	2.00	2.00										

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 4月 4日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第13週 平成29年3月27日～平成29年4月2日)

	合計																					
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
インフルエンザ #1	2,047	5	25	67	83	102	142	108	149	161	112	88	422	79	103	108	134	77	28	27	27	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
RSウイルス感染症	18	4	4	7	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	29	-	1	4	7	5	3	4	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	370	-	4	15	24	32	41	62	45	36	23	19	38	4	27	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	1,037	5	53	147	154	110	106	113	69	59	34	37	65	9	76	-	-	-	-	-	-	
水痘	73	-	2	4	1	5	6	5	11	18	11	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病	7	-	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	6	-	-	2	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	76	1	22	45	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	3	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	64	-	-	1	3	3	4	17	7	6	11	6	4	-	2	-	-	-	-	-	-	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	25	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	4	3	6	1	4	4	2	-	
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	14	1	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(入院)インフルエンザ	8	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 11 週

(3月13日～3月19日)

平成29年4月5日

インフルエンザの定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(22.84)、福島県(20.71)、長崎県(19.76)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は525例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(17例)、1～9歳(116例)、10代(22例)、20代(8例)、30代(7例)、40代(18例)、50代(14例)、60代(42例)、70代(90例)、80歳以上(191例)であった。

RSウイルス感染症の報告数は690例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岩手県(2.61)、鹿児島県(0.98)、佐賀県(0.74)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は鳥取県(8.32)、山形県(6.73)、北海道(5.69)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(10.19)、鹿児島県(9.69)、香川県(9.39)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.29)、栃木県(0.65)、福井県(0.59)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.03)、秋田県(1.00)、福岡県(0.34)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(0.31)、島根県(0.30)、福島県(0.26)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.53)、和歌山県(2.32)、山口県(2.13)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は奈良県(1.50)、鳥取県(1.00)、岐阜県(0.80)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第6週以降増加が続いている。40都道府県から278例報告があり、年齢別では0歳(23例)、1～4歳(196例)、5～9歳(53例)、10代(5例)、30代(1例)であった。

<関東情報>

感染性胃腸炎(ロタウイルス)の定点当たり報告数は、群馬県(3.00)、神奈川県(1.20)からの報告が多い。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)



		平成29年 11週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	50,976	16,044	1,361	844	895	3,042	2,154	4,217	3,531
	定点当たり	10.33	10.72	11.34	11.11	9.42	12.42	10.16	10.24	10.48
RSウイルス感染症	報告数	690	110	9	5	2	12	17	36	29
	定点当たり	0.22	0.12	0.12	0.10	0.03	0.08	0.13	0.14	0.14
咽頭結膜熱	報告数	1,224	213	20	11	18	37	32	58	37
	定点当たり	0.39	0.23	0.27	0.23	0.31	0.24	0.24	0.22	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,188	2,483	198	59	173	514	480	619	440
	定点当たり	2.60	2.64	2.64	1.23	2.98	3.27	3.61	2.39	2.09
感染性胃腸炎	報告数	18,275	6,519	331	147	387	1,166	877	2,104	1,507
	定点当たり	5.80	6.93	4.41	3.06	6.67	7.43	6.59	8.12	7.14
水痘	報告数	1,178	395	36	31	10	84	67	83	84
	定点当たり	0.37	0.42	0.48	0.65	0.17	0.54	0.50	0.32	0.40
手足口病	報告数	358	41	1	-	8	8	7	10	7
	定点当たり	0.11	0.04	0.01	-	0.14	0.05	0.05	0.04	0.03
伝染性紅斑	報告数	229	64	4	2	12	7	5	17	17
	定点当たり	0.07	0.07	0.05	0.04	0.21	0.04	0.04	0.07	0.08
突発性発しん	報告数	1,368	429	18	19	30	80	43	138	101
	定点当たり	0.43	0.46	0.24	0.40	0.52	0.51	0.32	0.53	0.48
百日咳	報告数	27	3	-	-	-	1	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	-	0.01	0.01	0.00	-
ヘルパンギーナ	報告数	70	14	1	-	2	4	-	3	4
	定点当たり	0.02	0.01	0.01	-	0.03	0.03	-	0.01	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	1,940	339	16	10	35	69	38	64	107
	定点当たり	0.62	0.36	0.21	0.21	0.60	0.44	0.29	0.25	0.51
急性出血性結膜炎	報告数	8	5	2	-	-	-	1	1	1
	定点当たり	0.01	0.03	0.12	-	-	-	0.03	0.03	0.02
流行性角結膜炎	報告数	315	136	11	4	3	14	17	12	75
	定点当たり	0.46	0.69	0.65	0.33	0.21	0.37	0.53	0.32	1.60
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	2	-	-	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.10	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	19	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.04	0.01	-	-	-	-	-	-	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	135	24	3	2	5	3	1	8	2
	定点当たり	0.28	0.29	0.23	0.29	0.63	0.30	0.11	0.32	0.20
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	278	83	8	6	24	10	7	16	12
	定点当たり	0.59	1.01	0.62	0.86	3.00	1.00	0.78	0.64	1.20

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

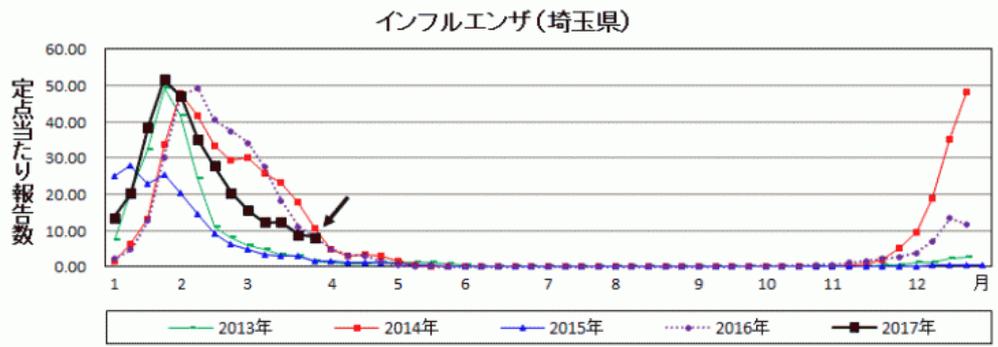
- 感染症発生動向調査 2017年**
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
 - [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)

感染症の流行状況 2017年 第13週

2017年第13週（平成29年3月27日～4月2日）の要点 平成29年4月5日

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週と同水準に留まっており、今しばらく注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- ・ [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- ・ [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- ・ [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン